

川崎医療福祉大学 医療福祉学科の魅力とは？

“医療に強い”“実践力”のあるソーシャルワーカーを育成する！

1. **カリキュラム改正で、さらにソーシャルワーカー育成に向けた教育内容を強化している。**
 - ・全学生に社会福祉士国家試験科目を卒業の要件とし必修としている。
 - ・実践力あるソーシャルワーカーを育成するために、医学関連の科目を必修としている。
 - ・教員は、ほとんど「社会福祉士」国家資格を有し、現場での働きの経験をもとに指導できる。
 - ・実践での活用を意識した、現場実習を展開する。
現場指導者（卒業生等）との連携を密にし、実習前準備を展開している。
2. **教育体制が充実している。**
 - ・4コース制（社会福祉士、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカー、教員養成（福祉・特別支援学校教員））により専門職進路の実現を図る。
 - ・本学科は、ソーシャルワーカー養成を専門にしている。一人あたりの学生に対する専門教員数は、全国有数である。
 - ・教員は、ソーシャルワーカー養成に使命感をもって教育にあたっている。
教員は、ソーシャルワークの仕事は、国民の幸福と生活に不可欠であり、その育成は社会的使命と認識し、教育と研究に携わっている。
3. **社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験の合格に向けた対策と学習環境が充実している。**
 - ・社会福祉士・精神保健福祉士の2つの国家試験の受験資格を取得することが可能である。
 - ・全員の受験を前提とし、その対策を目的とした、「必須科目」を独自に設定している。
 - ・少人数のクラス編成を取り、教員によるきめ細い、丁寧な指導を受けることができる。
 - ・実際の試験を想定した複数回の学内での模擬テスト、全国模擬試験を通して実力をつける。
4. **本学科卒業生が医療、福祉の領域でオピニオンリーダーとして活躍している。**
 - ・卒業後、病院など医療機関で活躍するソーシャルワーカー（例えば、医療ソーシャルワーカー・精神保健福祉士）の割合が高い。
 - ・医療福祉関連の働きをする卒業生が多数のため、卒業後、医療福祉領域の仕事がそのつながりのなかでできるので有利である。
5. **学生生活を送るための学習環境が整備されている。**
 - ・図書館の所蔵は、哲学、思想他、専門分野である医学、福祉、保健の関連が所蔵数も四国・中国地方で有数である。
 - ・岡山・倉敷の近辺で交通の便がよい。駅から近く「通学」に便利である。移動・買い物（大学近辺に24時間スーパーあり）に便利である。生活環境が整っている。
 - ・川崎学園で学ぶ学生が利用できる「学生寮」（女子）が整備されている。
 - ・川崎医科大学附属病院があり、健康診断、外来・入院治療、24時間対応の高度救急医療センターも利用でき健康管理面でも安心である。

その他

- ・川崎学園内の医科大学附属病院・短期大学・専門学校や旭川荘（西日本最大級の福祉総合施設）のネットワークのなかで、充実した教育を受けることができる。